

記者会見

日時 令和8年2月12日(木)

午後1時から

場所 市役所3階 大会議室

1 令和8年度当初予算案の概要について

- ・先日の越前市長選挙で、市民の皆様の温かいご支援いただき、この場に立つことができたこと、まずもってお礼を申し上げます。ありがとうございます。
- ・5日前から越前市の職員の仲間に加えていただいて、今日この場に立っています。
- ・その中で、『明るく、前向きに、元気に、楽しく、人の絆で、「みんな幸せ越前市」』、これを、全力前進で取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

- ・今回発表する令和8年度当初予算案については、市政運営、市民生活への影響を最小限に抑えて、合わせて、切れ目のない行政運営のために必要な事業を積み上げ、いわゆる「骨格的予算」として編成をしています。
- ・この結果、一般会計当初予算の規模は、398億5,200万円となっています。
- ・前年度と比べ3億4,000万円、率にして0.9%の増となり、過去最大の当初予算額となっています。
- ・なお、学校施設の空調設備更新や道路拡幅工事など、一部事業については国の補正予算などの財源を活用し、令和7年度3月補正予算に前倒ししています。
- ・また、私は就任以来、市の抱える様々な課題について、各部局と協議を進めていますが、特に物価高対策については、市民の皆様の暮らしに直結する切実な課題であるため、優先的に取り組むべきと考えています。
- ・現在、小中学校、保育園などの給食食材費の支援、それから住民税非課税世帯の暮らしを応援するための給付金などについて検討を進めているところであり、とりまとめ次第、これから開かれる3月議会の中で予算を追加上程し、必要な支援を実施したいと思っています。
- ・さらに今後、「みんな幸せ越前市」の実現のため、新たな事業も打ち出していきたいと考えています。
- ・引き続き、様々な声をお聞きし、市民の皆様の思いに応えるにはどのような施策が最も効果的なのか、十分に検討し、議論を深めた上、6月の議会にて必要な予算を提案していきたいと思っています。

- ・今回の当初予算案の話に戻りますが、物価の高騰などを受けて歳出が増加していく中で、国の財源を積極的に取り込むとともに、交付税措置のある有利な地方債を効果的に活用するため、国の財政運営などの方針である「骨太の方針2025」を踏まえながら、①安全・安心、災害に強いまちづくりを推進する取組み、②こども・子育て世帯への支

援、③市民活躍を支える取組み、④DX等の推進、この4点を主要施策の柱として位置付けています。

・それぞれについて、主な事業を順に説明します。

・まず、2ページから5ページまでは、主要施策①安全・安心、災害に強いまちづくりの推進のための事業を紹介しています。

中学校体育館空調整備事業 4億564万5千円

- ・各学校の体育館は災害時に避難所となることから、避難所として良好な生活環境を確保するために、計画的に空調設備の設置を行うものです。
- ・また、体育館は学校の授業、部活動、学校開放活動など様々な目的で使用されています。近年の猛暑を踏まえると、児童生徒等の健康を守るためにも、適切な温度管理が不可欠だと考えています。
- ・令和8年度は、前年度に実施設計を行った武生第一中学校、武生第五中学校、南越中学校の3校の本工事をを行うとともに、新たに万葉中学校、武生第二中学校、武生第三中学校、武生第六中学校の実施設計を行い、令和9年度の本工事に向けた準備を進めるものです。
- ・小学校の体育館についても、中学校の方が完了次第、順次整備をしていきたいと考えています。

広域避難場所への分散備蓄計画 911万2千円

- ・令和6年の能登半島地震では、道路が寸断されるなどして、備蓄倉庫から各避難所への資機材への搬送が一時的に滞る事象が発生しました。
- ・これを踏まえ、大規模災害の発生当初から避難所の環境が整うように、携帯トイレ、毛布、ガスボンベといった備蓄資機材を整備し、広域避難場所に分散して配置するものです。
- ・こちらは、県の補助金を活用しながら、令和7年度から3か年かけて計画的に進めており、令和9年度は、これらに加え、避難所の断水対策となる資機材を整備する予定です。

災害時の緊急輸送道路の整備 6,000万円

- ・近年全国各地で災害が頻発化、激甚化しています。
- ・その中で、本市でも大規模な自然災害に備えて、住民の皆様の安心・安全を守るために、福井県の防災拠点基地であり、防災物資倉庫が配置されている武生東運動公園と、武生インター線を結ぶための緊急輸送道路を整備するものです。

上下水道施設の強靱化 7億8,279万2千円【水道・下水道会計】

- ・大規模自然災害が発生した際にも、市民の皆様の生活を守っていくためには、安全な

水の供給と下水の処理機能の維持が不可欠です。

- ・その中で、上下水道施設の耐震化、老朽化箇所の更新を進めるとともに、災害時に活用できる給水タンクを購入するものです。
- ・令和7年1月に埼玉県八潮市で起きた大規模な道路陥没は、下水道管の老朽化が原因とされており、道路陥没による事故を防ぐという観点からも重要と考えています。

緊急銃猟実施体制の整備 72万円

- ・全国各地でクマによる被害が特に多く報告されている中で、襲われてケガをする、命を失うという事例が起きています。
- ・その中で、9月に改正鳥獣保護管理法が施行され、クマなどが人の生活圏に出没し、危険性が高いと判断される場合には、安全を十分に確保した上で、市長の判断により、銃を用いて駆除する緊急銃猟を実施することが可能となりました。
- ・本市でも、市民の皆様の安全を守るために、緊急銃猟の体制を整えるとともに、パトロールを強化する等して人身被害を未然に防いでいくものです。

行政代執行による危険空家等の除却 341万円

- ・人口減少に伴い、市内でも多くの空家が確認されており、その中でも老朽化が著しい朽飯町の危険な空家については、空家等対策特別措置法に基づき特定空家に位置づけています。
- ・このような老朽化した空家は、降雪等をきっかけに倒壊し、周辺道路、近接する住宅に破片が散乱するなどして、通行人、近隣住民の安全安心を脅かすおそれもあることから、計画的に除却することとしています。
- ・今回は、特定空家になった朽飯町の空家を、行政代執行により除却する予算です。

道路施設の維持改修 2億6,676万円

- ・市内の道路施設の老朽化が非常に進行している中で、通学路の危険箇所、特に緊急措置が必要な箇所を中心に、計画的に改修を進め、市民の皆様に安心して通行していただける、安全な道路を実現していく予算です。

河川の堆積土砂の撤去と雑木伐採 5,060万円

- ・河川の流下能力を確保し、越水、氾濫を防ぐものです。
- ・危険度の高い箇所から計画的に、河川に堆積する土砂を撤去するとともに、繁殖した雑木の伐採を進めることで、治水対策を強化していくものです。

- ・6 ページから 8 ページまでは、主要施策②こども・子育て世帯への支援のための事業を紹介するものです。

全天候型キッズパークの設置 8,000万円

- ・既存の民間施設、武生楽市の2階を活用し、天候に左右されず、安心して遊ぶことができるこどもの遊び場を設けるものです。
- ・現在、遊具などの設計を行っており、4月頃から施工に入る予定です。
- ・令和8年7月中旬ごろ、夏休み前の供用開始を予定しています。

吉野地区新公立認定こども園の整備 5億3,774万7千円

- ・地域の子育て支援機能を充実させ、こどもの発達段階に応じた教育、保育を提供できる環境を整えるために、吉野地区の公立保育園、幼稚園を集約し、新たに認定こども園を整備するものです。
- ・現在、園舎の建設工事を行っています。
- ・令和8年度は、建物部分に加えて、外構や園庭の工事を実施する予定で、引き続き令和9年4月の開園に向けて準備を進めていきたいと思っています。

サマー学童の実施 72万8千円

- ・南地区は、特に放課後児童クラブの利用希望者が多く、夏場の熱中症対策の観点からも、実施場所を拡充する必要性がありました。
- ・その中で、令和8年の夏休みの期間中、南児童クラブのこどもたちを対象に、地区外にはなりますが、市民プラザたけふにてサマー学童を実施し、夏季におけるこどもたちの安全・安心の居場所を確保する事業です。

RSウイルスワクチン接種事業 1,638万2千円

- ・肺炎等の原因となるRSウイルスは、特に生後6か月未満の乳児が感染すると、重症化しやすく、入院が必要なケースもあります。
- ・乳児は、そのお母さんが妊婦の間にワクチンを接種することで、免疫を獲得し、重症化を防ぐことができます。
- ・これまで、ワクチン接種費用は、原則自己負担でした。
- ・令和8年4月1日から、国がこのワクチンを定期接種に位置付け、接種費用を公費で支援し、無料とするよう制度を変更することから、本市でも、国の動きに合わせ、ワクチン接種体制を整備するものです。

休日部活動の地域展開 3,384万6千円

- ・急激な少子化の進展や学校における働き方改革の必要性が高まる中、全国的に休日部活動の地域展開が進められています。
- ・本市においても、令和5年度から中学校部活動の地域展開を進めています。
- ・将来にわたって、こどもたちがスポーツや文化活動に親しむことができる機会は、これまでと同様、大切にすべきであると考え、認定地域クラブ活動費等の支援、経済的に困窮する世帯の生徒への支援、これらを通じて、引き続き認定地域クラブ活動の体制整備

を推進するものです。

- ・9 ページから 13 ページまでは、主要施策③市民活躍を支える取組みを紹介するものです。

脳活チャレンジプロジェクト 402万6千円【介護保険特別会計】

- ・社会全体で高齢化が進む中、本市は人生100年時代の到来を見据え、令和7年11月に国立長寿医療研究センター、株式会社ほっとリハビリシステムとの間で、認知症予防及び健康づくりの推進に関する協定を締結しています。
- ・この協定に基づき、本市は、県内初となる「科学的根拠に基づく認知症・フレイル予防モデル」づくりを推進することとしており、脳の健康度をチェックするアプリ、認知・運動機能の改善のためのプログラムを活用して、健康長寿の実現を図っていくものです。

認知症啓発事業 125万6千円【介護保険特別会計】

- ・チームオレンジとは、認知症の方やそのご家族を、地域包括支援センターや認知症サポーターなど、地域で支える共同チームであり、認知症になっても、地域で安心して暮らせる環境をつくる取組みです。
- ・令和8年度は、6か所ある地域包括支援センターに配置されている「認知症地域支援推進員」を中心に、地域の特性に合わせた交流や、認知症への理解を深める研修会などを実施し、センターを拠点に、認知症に関する相談、支援、啓発活動を一体的に推進していくものです。

障がい者福祉・高齢者福祉に関する計画の改定 82万9千円

- ・障がいのある方もない方も、そして高齢者も、互いに認め合い、支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを進めるために、令和8年度に終了する障がい者計画などの4つの計画について、令和9年度からの次期計画期間に向け改定作業を進めるものです。
- ・改定に当たっては、当事者の方々、ご家族、事業者に参画いただき、幅広くご意見をお聞きして作成していきたいと思っています。

本市に適した持続可能な公共交通ネットワークの再編 1億3,400万4千円

- ・令和7年3月に策定した当市の地域公共交通計画に基づき、市民バス、予約のりあいタクシー(デマンド交通)、地域支えあい交通(自家用有償旅客運送)、これらを主要な交通モードとして確立し、公共交通ネットワークの最適化に取り組むものです。
- ・市民バスについては、市の中心部の市街地循環南ルートと南ルートを統合再編し、市中心部の移動と利便性を高めるものです。
- ・予約のりあいタクシーについては、今後の本格運用に向けて実証実験の検証、そして利用者の意向調査を行い、利便性の向上に努めていきたいと思っています。

- ・地域支えあい交通に関しては、坂口地区では高校生の朝の通学、白山地区では空家イベントの来訪者の送迎にも用途を拡大しながら、各地区の住民の皆様の日常生活を支える足として、引き続き安定した運行に努めていきたいと思っています。

第75回たけふ菊人形 8,400万円

第21回越前市サマーフェスティバル 1,370万円

- ・越前市が誇る全国最大規模の菊の祭典、たけふ菊人形は、令和8年度で75回目の開催となります。
- ・また、本市の夏を彩る地元の祭り、サマーフェスティバルは、令和8年度で21回目の開催です。
- ・いずれも、これまでに引き続き市として開催を支援することとしており、県内外から多くの誘客を図り、観光による消費額の拡大、まちなかのにぎわい活性化、ひいては越前市の魅力向上につなげていきたいと考えています。

新規創業支援体制の拡充 624万9千円

- ・地域経済の新陳代謝の向上を促し、バランスのよい産業構造の実現に向けて、新しく創業にチャレンジする事業者を、武生商工会議所、越前市商工会、市内金融機関の伴走機関とともに支援するものです。
- ・小規模事業者未来開拓サポート補助金については、新規創業者や事業承継者、DXや脱炭素など様々な手法を取り入れ生産性の向上を目指す小規模事業者を支援するものです。
- ・女性等創業支援資金利子補給金については、日本政策金融公庫と連動して、これまで対象外だった35歳未満の男性の創業を新たに支援対象に加えるとともに、事業定着を促進するため、利子補給期間を3年に延長するものです。

利用者の安全・安心を優先するスポーツ施設の改修 2億2,570万2千円

- ・指定避難所に位置づけている市の武道館については、令和7年度、8年度の2か年をかけて、耐震補強するとともに、空調設備等の改修を行っており、避難所としての機能も確保していきたいと思っています。
- ・また、武生東運動公園陸上競技場についても、利用者の安全を図るとともに、現在の日本陸連第3種公認競技場の立場を維持するために、破損、劣化部分の更新工事を行うものです。

有機農業の着実な推進 5,953万9千円

- ・本市はかねてより、環境に配慮した安全で良質な農作物の生産振興を推進しながら、日本で有数の有機産地を目指しています。
- ・引き続き有機農業の拡大を図るため、米、そば、野菜等を栽培する取組みを支援するとともに、市内小中学校の給食での有機農作物の活用を促進し、子どもたちが有機農業

への関心を深めるきっかけとしていきたいと思っています。

適切な森林整備の推進 6,088万2千円

- ・本市では、総面積の約6割を森林が占めているものの、林業従事者の高齢化に伴う担い手不足により、適切な森林整備の継続が課題となっています。
- ・森林は、国土保全、防災機能を有しており、林業はもとより、市民の安全確保の観点からも重要な役割を担っています。
- ・このため本市では、森林環境譲与税を活用しながら、県産材の利活用促進策として、県産材を生かした公園整備、和ハーブを活用した体験イベントの開催などを進めるとともに、森林の整備・保全、人材育成や担い手の確保といった取組みを総合的に推進したいと思っています。

- ・14 ページと15 ページは、主要施策④DX等の推進のための事業を紹介するものです。

デジタル学習基盤の整備・活用 618万3千円

- ・個別最適な学びの推進、そして、いじめ、不登校などへの早期対応を図るために、県事業に基づき、県の校務支援システムと連携できるAI教材、それから、心の健康観察アプリなどをモデル校に導入し、効果的な運用方法などの検証を行うものです。
- ・令和8年度は、小中学校の計3校をモデル校として先行導入し、効果検証を進めた上で、令和9年度に市内全校への一斉導入を予定しています。

公金収納のデジタル化 777万2千円

- ・本市では、市民が市役所に行かなくても用事を済ませることができる市役所、「手のひら市役所」の推進に取り組んでいます。
- ・この取組みをさらに前進させるために、市が発行する公民館、スポーツ施設などの利用料の納付書に、e-QRコードを付与することで、既にキャッシュレス化されている税の納付と同様に、スマホ等から簡単に利用料を納付できる、便利な環境を整備するものです。
- ・運用開始は、令和9年4月を予定しています。

電子契約システムの導入 1万円

- ・先ほどと同様、市民の皆様にとってより便利な仕組みづくりの1つです。
- ・このシステムの導入により、事業者の方などが、これまで市と契約を交わす際に必要だった紙での印刷、郵送、収入印紙代、これらが不要となります。
- ・コスト削減に繋がるだけでなく、契約スピードと管理効率が向上するものです。
- ・導入開始は、令和9年1月を予定しています。
- ・県が既に導入しているシステムを共同利用することにより、費用を低く抑えることが可能です。

- ・ここまで、主要施策の4点の柱を実施するための事業を説明してきました。
- ・16 ページから 21 ページにかけては、その他の主な継続事業を紹介したいと思います。

帰ってきたい！住み続けたい！「ふるさと」とのつながりづくり 1,487万円

- ・本市では、「10 万人の元気と活力」の維持・発展を目指し、市外からの移住・定住を促進するための補助や、ふるさと LINE・移住支援サイトを通じた、越前市を感じる情報の発信などを行っています。
- ・引き続き、移住・定住希望者に選んでいただけるよう、本市の魅力や情報の発信を強化しながら、移住・定住者の獲得を目指していきたいと思っています。

県内トップクラスの住宅支援制度で「住みたい！」を応援 5,010万円

- ・子育て世代や新婚世帯、移住者等が本市にて移住・定住してもらえるように、新築住宅取得事業補助金を主とした、県内トップクラスの住宅支援制度にて、本市に「住みたい」を応援しています。
- ・中古住宅の取得やリフォームも促進しながら、先ほどの取組みとあわせて、移住定住者のさらなる増加を図っていききたいと思っています。

STOP 温暖化！ 脱炭素で地球を守ろう！ 1億8,994万6千円

- ・国の補助金を活用し、引き続き、市民、事業者向けに太陽光発電設備の設置や、住宅の断熱性向上、高効率給湯器入替えの支援を行うものです。
- ・また、これまでも、市の公共施設に太陽光発電設備の設置を行ってきましたが、令和8年度は、神山小学校のプールへの設置を予定しています。
- ・こうした取組みを通じ、市民、事業者、行政で一体となって脱炭素社会の実現を推進していきたいと思っています。

トップ層をターゲットとした観光誘客 8,144万1千円

- ・本市はこれまで、令和5年3月に策定した観光振興プランに基づき、本市が誇る伝統産業を中心に、いわゆるトップ層をメインターゲットとする誘客促進策を実施しています。
- ・この取組みをさらに強化、充実し、旅行者の声を聞き取り、分析、検証することにより、さらなる満足度の向上を図り、滞在時間の延長、消費額の拡大につなげていきたいと思っています。

新たな斎場を整備～コンパクトで、効率的で、クリーンな施設～ 708万5千円

- ・本市の斎場は竣工から54年が経過しており、老朽化が進んでいることから、南越前町と共同で新しい斎場整備を進めています。
- ・令和10年の供用開始を予定しています。
- ・故人を偲び、最後のお別れの場にふさわしい新斎場を目指すとともに、建物や設備は

機能的で、維持管理費やコスト面も考慮した、長く使用できる施設づくりに取り組んでいきたいと思っています。

福祉施設等の計画的な改修 4,741万3千円

- ・本市は、市民福祉の向上と健康の増進を図るために、様々な福祉施設を設けていますが、設置から数十年経過した施設も出てきている中、老朽化が進んでいる箇所の改修、耐用年数が過ぎた設備の更新を計画的に進めながら、長寿命化を図っていくこととしています。
- ・令和8年度は、しきぶ温泉湯楽里や福祉健康センターの改修、空調更新を予定しています。

教育施設等の計画的な改修(教育施設) 7,741万1千円

教育施設等の計画的な改修(文化施設) 1億5,715万5千円

- ・子どもたちや地域住民が安心して学習、活動できる環境を整備するため、学校、地区公民館について、計画的に設備の改修を行い、施設の長寿命化を図っていくこととしています。
- ・令和8年度は、王子保小学校屋内運動場の長寿命化のための改修工事などの実施設計、吉野公民館耐震補強等工事の実実施設計などを予定しています。
- ・また、市民や団体の文化活動の拠点である文化施設についても、耐用年数を過ぎた設備を計画的に更新し、施設の長寿命化を図っていきます。
- ・令和8年度は、越前市文化センターの大ホールの音響設備、武生公会堂記念館の空調設備の更新を予定しています。

鳥獣害軽減対策 1億695万7千円

- ・本市の鳥獣被害を軽減するための取組みとしては、先ほども触れましたが、令和8年度から緊急銃猟実施体制を整えていくとしています。
- ・そのほかにも、引き続き、①防除、②捕獲、③生息環境管理の3本柱による対策を推進しています。
- ・具体的には、資料の中の①②③の取組みなどを実施することとしており、地域、関係団体とも連携しながら、被害の軽減に努めていきたいと思っています。

大瀧神社屋根葺き替え及び建造物調査 970万9千円

- ・国指定重要文化財である大瀧神社の本殿、拝殿について、令和7年度から進めている屋根葺き替え工事への支援、それから、令和6年度から進めている建造物調査を引き続き実施していきたいと思っています。
- ・文化財をさらに磨き上げ、新たな価値を見出すことにより、観光振興や伝統産業振興につなげていきたいと思っています。

- ・22 ページから 24 ページにかけては、各部局で予算をかけずに取り組んでいる、いわゆる「ゼロ予算事業」の中から6点を掲載しています。
- ・簡単に内容を説明します。

DXで便利な市役所、庁内業務の効率化

- ・市役所に行かなくても用事が済む「手のひら市役所」の取組みを推進するため、オンラインで申請・相談できる範囲をさらに拡大したいと思っています。
- ・また、庁内業務の見直しや、RPA(作業自動化)により、業務の効率化を推進するため、各課の効率化優良事例などを集約し、庁内全体に紹介、展開していくものです。

働きやすい職場環境整備

- ・職員の定時退庁を徹底する「定時に帰る運動」を展開し、超過勤務時間の抑制につなげていくものです。
- ・また、各部署から選出された「変えよっさ推進員」による活動を通じて、業務の効率化、職場風土の改善に努めるものです。

手話であいさつするまちの実現

- ・手話を第一言語とする聴覚障がい児、聴覚障がい者にとって開かれた社会を実現するため、地域の企業や商店にあいさつなどの簡単な手話を広げる取組みを推進するものです。

伝統工芸後継者の確保

- ・本市の伝統工芸産業の職人希望者を受け入れている「伝統工芸職人塾」の塾生や修了者の意見交換の場として、交流会を実施し、職人塾修了後の悩みなどを吸い上げ、課題とニーズの把握に努めるものです。
- ・また、伝統工芸の技術習得を目指す専門校の学生に、本市の伝統産業を紹介し、学生の就職につなげる取組みです。

地域計画における農業担い手対策等の取組み

- ・地域計画における担い手の確保、育成支援などの課題に対応するため、県、JAと連携し、新規就農者の誘致、支援、技術指導等を総合的に支援し、担い手の確保を図るなど、必要な支援を行っていくものです。

2つのユネスコ関連事業

- ・本市は、令和7年10月にユネスコ創造都市ネットワークへの加盟が決定し、加えて12月に、越前鳥の子紙がユネスコ無形文化遺産に追加登録されたところです。
- ・これを受け、小学校や生涯学習センター、図書館において、私たちが暮らすまちが、文化、芸術、産業の創造性に富んだ豊かなまちであることを学ぶ機会を設け、市民のふる

さへの愛着と誇りを醸成する取組みです。

- ・25ページ以降は、今までに説明した事業を中心に、内容の詳細を紹介しました。
- ・また、細かい計数関係の資料を掲載している部分になるので、説明は省略します。

2 令和7年度3月補正予算案の概要について

- ・令和7年度3月補正予算案は、国の補正予算を活用した学校施設の空調設備更新等をはじめ、今季の降雪に対応するための経費や、地方バスの路線維持に必要な予算を計上しています。
- ・また、事業費の確定などに伴い、下水道事業会計への繰出しやふるさと納税関連経費の減額を計上したほか、財政調整基金や子育て支援、企業誘致、公債費の償還等のための基金の積立てを行ったものです。
- ・この結果、一般会計の補正額は、国補正予算活用分として2億3,039万3,000円の増、それ以外の通常分として3億6,928万円の増、合わせて5億9,967万3,000円の増となりました。
- ・その結果、補正後の一般会計予算総額は、420億4,049万3,000円となりました。
- ・主な事業は、2ページ以降に掲載しています。抜粋して説明します。

補助道路整備事業、雪寒地域道路整備事業（合計）4,436万5千円

- ・いずれも、国の補正予算を活用し、令和8年度に実施を予定していた市道の拡幅工事、消雪施設整備工事を前倒しするものです。
- ・国庫補助金に加え、補正予算債を活用して実施していきたいと思います。

小学校施設営繕事業、中学校施設営繕事業（合計）1億8,418万円

- ・いずれも、国の補正予算を活用して保健室等の空調設備を更新するとともに、理科室等に空調設備を新設するものです。
- ・実施場所は、北新庄小学校、白山小学校、服間小学校、武生第一中学校、武生第二中学校、武生第五中学校の、合計6校です。
- ・こちらも、国庫補助金に加え、補正予算債を活用して実施するものです。

地域交通対策事業【路線バスの運行支援】7,169万4千円

- ・路線バスを維持するため、事業者が生じた不採算額を、国、県、沿線町と連携して支援するものです。
- ・事業者が生じた経常損失から、国、県補助金の額を差し引いた上で、沿線町と路線延長で案分した額を計上しています。

生活保護適正実施推進事業【最高裁判決による追加給付】35万2千円

- ・国が平成25年の生活扶助基準改定において基準額を引き下げたことに対し、令和7年6月に最高裁判所が違法であるとの判決を下したことを受け、対象となる世帯に追加給付を行うため、関係するシステムの改修を行うものです。
- ・なお、この追加給付費、それから給付に係る人件費などの事務費は、別途、令和8年度当初予算にて計上しています。

しきぶ温泉湯楽里管理事業【修繕に係る指定管理委託料の増額】 533万5千円

- ・令和7年末に損壊したしきぶ温泉湯楽里の女性浴室の天井パネル等について、指定管理者が修繕を実施したため、協定に基づき指定管理委託料を増額するものです。

多面的機能支払交付金事業【農地等の保全活動支援】 1,963万1千円

- ・地域が行う農地や水路等の維持、補修等の活動支援について、令和7年12月に国、県から追加交付の内示が示されたことから、あわせて増額するものです。

道路除雪対策事業、地域自治振興事業【除雪費】（合計）3億4,351万4千円

- ・いずれも、今期の降雪に対応するため所要額を補正するものです。
- ・全社出動7回分、山間部出動1回分を計上しています。

ふるさと納税推進事業 △1億3,200万円

- ・今年度のふるさと納税の見込みが当初より2.5億円、11億円から8.5億円に減少しています。
- ・これに伴い、返礼品等の費用を減額するものです。

減債基金事業 7,512万1千円

- ・国の補正予算により、令和7年12月に普通交付税が4億9,398万4,000円追加交付されました。
- ・そのうち7,487万2,000円は、令和8年度、令和9年度の臨時財政対策債の償還に充てることを前提に交付されているため、同額と基金運用利子24万9,000円を合わせて減債基金に積み立て、今後の償還に備えるものです。

質疑応答

Q

- ・就任後の初めての当初予算です。現在、市長が考えている越前市政の課題を踏まえて、本予算のポイント、力点を教えてください。

A

- ・今回の当初予算、補正予算については、市長がいない中での査定を踏まえ、いま必要なものを計上しています。
- ・これから私がやっていきたいものについては、追加の補正や、6月以降の予算の中で行っていきたいと考えています。
- ・一度に大改革はできないと思っています。まずは、来週の3月議会において、議案や予算について是々非々の議論をさせてもらい、整理した後に、できるものを順次入れていきたいと思っています。

Q

- ・市長選の中でも、新幹線駅周辺の発信拠点としての整備などの考えを述べられていましたが、次の6月補正予算、肉付け予算の方針について、今考えているものがあれば教えてください。

A

- ・いまの骨格的予算においては、市民生活、当たり前の日常のための予算が計上されていると思っています。
- ・新幹線駅周辺の開発については、ゲートウェイ効果、伝統産業もありますし、最先端企業もありますし、そのように集積したのを見てもらい、さらに、越前市内色々な場所へ行ってもらおうと思っています。
- ・早いものは6月補正予算で入れていきますし、もう少し時間がかかるものもあると思います。
- ・今回の当初予算や補正予算に入っている事業も生かしながら、できたらいいと思っています。

Q

- ・山田前市長がしてきた中で、今後見直す必要があると考えているものがあれば、教えてください。

A

- ・良いものはそのまま続けていきたいですし、一度に見直すのではなく、中身を少し変えてみることもあると思います。
- ・いま計上されている予算自体は、どれも必要な予算だと思っています。

- ・今後、例えば、経済対策の追加補正などについては、他の市町が既に出している中で、どのようなやり方があるのか、越前市ではどうするのかを議論をしたり、査定をしたり、職員や市民の話を聞いたりして、より良いものにしていきたいと思えます。

Q

- ・県職員の時から、防災に関しては並々ならぬ力を入れてきたと聞いていますし、今回の主要施策でも、一番に、安全・安心、災害に強いまちづくりの推進を挙げています。
- ・そこで、越前市の防災に足りない点、新しい観点でやっていきたい点をお聞かせください。

A

- ・防災は、当たり前の日常の一丁目一番地です。安全・安心が確保されなかったら、歴史や伝統、最先端産業も、何もありません。
- ・災害が激甚化、頻発化する中、老朽化対策や耐震化に係る予算を計上しています。中学校体育館の空調整備、広域避難場所への分散備蓄、下水道施設の対策もあります。
- ・これらの事前対策をしつつも、私が力を入れたいのは、事後対策、災害が起きた後にどうするのか、です。
- ・例えば、能登半島地震で起きたことについて、越前市ではどうなっているのか。おそらく、きっちりやっていると思いますが、その中でも、発生後の体制連絡体制など、事後のための事前準備を整えたいと思えます。
- ・私が今まで4年間見ている中では、令和4年8月に鹿蒜川(かひるがわ)での災害がありました。
- ・そのとき私は県にいましたが、日野川の水位がギリギリまで上がり、あと少しで越水するのではないかという状況が、職員から市長にきちんと上がり、避難指示を出していました。
- ・起きている災害への対策もしっかりできていたと思えますが、その時の事後対策を確認したいと思えます。

Q

- ・移民に関して、石田嵩人知事が「無差別、無秩序に福井に来てもらうことに対して反対だ」と発言しています。外国人の方が多い越前市として、どのように受け止めていますか。

A

- ・その発言とは別に、越前市には7.5%の外国人の方がいます。働くだけでなく、生活もされています。
- ・私も、地域活動の中で、その方々とどのように交流しようかと考えていました。
- ・ちょうど地域の体育祭があったときに、市役所がチラシをポルトガル語とベトナム語に翻

訳してくれました。それを、外国人の方が集中して住んでいる建物に配布をしました。そして、競技も参加しやすいものに変えたところ、来てくれて、楽しく参加して、ちょっと景品が出たのですごく喜んで、また来たいということがありました。

- ・越前市の中で一緒に働き、生活している人間として、共生していくべきだと思っています。
- ・知事の発言とは別に、越前市としては、そのような考えで進めていきたいと思っています。色々なことを皆さんと話しながら進めていきたいと思っています。

Q

- ・越前市は、国際交流運動会を開くなど、外国人との多文化共生を積極的に進めているという印象があります。石田知事の発言によって、今後に影響はありますか。

A

- ・石田知事の発言は別として、私も地域活動として取り組んできましたので、国際交流運動会などの取組みを、もう少しできるとよいなと思います。
- ・地域の中には、体育祭や音楽祭などの取組み、イベントがあります。
- ・ただ、外国人の方だけのイベントとなると、交流がないので、どのように地域のイベントの中に組み込むかを考える必要があると思っています。
- ・外国人の方も、仕事だけでは寂しいです。休みのときに一度地元の方と話ができると、次にまちなかで会った時も、あいさつができます。そのようなことができたらいいなと思っています。
- ・過去の取組みを調べて、また、企業の方と話をしながら、よりよいものにできたらと思っています。

Q

- ・越前市にいる外国人の方々について、どのような存在であると受け止めていますか。
- ・また、越前市には、にじいろこども園のように、外国人のお子さんがたくさんいるこども園もありますが、多文化共生の取組みを続けるのか、あるいは、方向性を変えるのか、お考えはありますか。

A

- ・外国人の方々と話をするとき、最初は私たちも、外国人の方って、どんな方だろうと構えるところがありますが、外国人の方もものすごく構えています。
- ・ですが、実際に声をかけて仲良くなると、フレンドリーですし、一緒に楽しむことができますし、そのような意味で、まちを構成する一人です。
- ・外国人の方々が企業で働いていて、その企業の生業が成り立っているという点でも、越前市の住民の一員だと思っています。
- ・にじいろこども園の取組みも、とても良い取組みだと思いますし、職員の話聞きなが

ら、さらに良いものに変えていきたいです。

- ・私の掲げる『みんな幸せ越前市』の中には、当然外国人の方々も入っていますし、ともに幸せになればと思っています。

Q

- ・越前たけふ駅の駐車場について、一昨日の市議員全員説明会において、有料化に向けた方針の説明があったと聞いています。それについて2点お伺いします。
- ・1つ目は、有料化に踏み切る必要があると考えた理由。
- ・2つ目は、当初予算には、有料化に係る予算が組み込まれていませんが、今後、どのようなプロセスで進めていくのか、予算上程などのスケジュール感をお伺いします。

A

- ・有料化に踏み切った理由についてです。
- ・調べたところ、長期間利用される方や、越前たけふ駅を使わず、待ち合わせをして車を置いていくという方が見受けられました。
- ・第3、第4と駐車場を増やしてきましたが、それでも満車になるのは、このようなことが一因ではないかと思います。
- ・越前たけふ駅やかがやきの利用者を増やすという中では、有料化しないのが一番よいですが、調べた結果、このような利用者がいました。
- ・ただ、他の新幹線駅の駐車場よりも駐車料を安く抑えるようにしています。
- ・一方で、長期間使用する人や、違う目的で使用している人については、有料化することで一度ご遠慮いただきたいと思っています。
- ・ただ、「料金が安すぎて、もっと停めるようになるのではないか」という意見も、議員からありました。
- ・やってみないと分からないところがありますが、まずは有料化に踏み込みたいと思っています。
- ・設定する料金と整備費用の関係もあります。
- ・「土地を買って無料駐車場を増やしてはどうか」という議員の意見もありましたが、それでは目的外駐車を増やすだけになりかねません。
- ・最適な料金がどうなのかをお示し、検討する中で、年度内を目途に方向性を打ち出したと思っています。

Q

- ・令和8年3月議会ではなく、令和8年度を通して議論をしていく、ということでしょうか。

A

- ・そうです。

- ・今回の予算には、有料化の分は計上されていません。必要であれば、補正予算でお示しすることになります。
- ・そこは、関係部局、関係者、市民の方と相談し、じっくりと進めていきたいと考えています。

A

- ・駐車場の使用料をとるには、条例の制定が必要になります。
- ・今議会に条例を制定しようとする、性急な話になり混乱します。
- ・周知期間を含め、議会との議論が十分に熟した後に、条例案とゲート等の予算を一緒に計上する形になります。
- ・それが煮詰まらない限りは、条例案も予算も出せないと考えています。

Q

- ・条例案と予算案については、何月議会というわけではなく、令和8年度中の成立を目指すということでしょうか。

A

- ・そうです。整理がつけば、速やかに議会に上程したいと考えています。